日立市立会瀬小学校

第６学年１組　道徳科学習指導案

１　主題名　　権利と義務（規則の尊重）

２　主題設定の理由

(1)　ねらいとする価値

本主題の内容項目Ｃ－１２は，「法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り，自他の権利を大切にし，義務を果たすこと」をねらいとしている。児童が成長することは，同時に所属する集団や社会を構成する一員として集団や社会の様々な規範を身につけていくことでもある。そのためにも，約束や法，きまりを進んで守ることができるようにすることが必要である。しかし，高学年の段階でも，日常生活において，権利や義務という観点から，自他の行動について考えを深めたり，それらを尊重したりすることは少ない。そこで，社会の法やきまりのもつ意義について考えることを通して，法やきまりが，個人や集団が安全かつ安心して生活するためにあることを理解したり，身近な集団におけるよりよい人間関係づくりを構築したりすることについて考えさせることで，自他の権利を尊重するとともに義務を果たすことの大切さをしっかりと身につけさせたいと考え，本主題を設定した。

(2)　児童の実態について（男７名　女２２名　計２９名　　６月４日調べ）

本学級は，高学年としてみんなのために頑張ろうと進んで活動することができる児童が多い。しかし，活動する意欲があっても，自分の意見や考えをうまく表現することを苦手と感じている児童も見られる。実態調査の結果からも学級や学校のために意欲的に取り組んでいる・取り組みたい児童が２３名と約８０％を占めていることが分かる。また，みんなのために頑張りたいが，自分の意見や考えを伝えることが苦手と答えた児童は，１７名と約６０％である。理由としては，自分の意見や考えに自信をもつことができなかったり，恥ずかしいと感じたりしていることが多く挙げられている。さらに権利や義務については社会科で学習をしたが，日常生活においてそれらを考えながら生活している児童は少ないことも分かった。

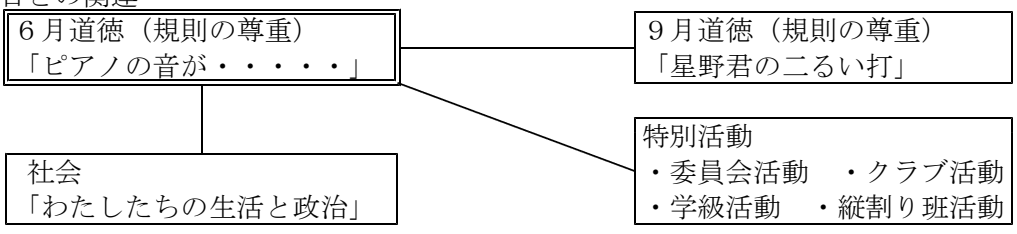
１．学級や学校がよくなるために意欲的に取り組んでいますか。
・取り組んでいる　15 名　・取り組みたい　8 名　・取り組んでいない　6 名
２．自分の意見や考えを伝えることはできますか。
・できる　12 名　・できない 17 名
○できない理由
・恥ずかしい　・失敗したらと考えてしまう（自信がない）　・話すことが好きではない
３．学校生活や日常生活で，権利や義務について考えることはありますか。
・ある　6 名　・ない　23 名

そこで，本学習では，互いが気持ちよく生活するためにはどうしたらよいかを考える活動やグループで討論する活動を通して，自分の意見や考えに自信をもたせるとともに，権利や義務の関連について考えさせたい。そして，権利を正しく主張することや義務を果たそうとする態度を育てていきたい。

(3)　資料について（資料名「ピアノの音が・・・・・・」東京書籍）

本資料は，「ピアノを弾きたい」人と「静かに生活したい」人との間で起きたマンション内による騒音トラブルの話である。互いが自分の権利を主張する中で，互いが気持ちよく生活するためにはどうしたらよいかを考えることを通して，権利と義務の在り方や言いたいことを言い合える関係を築くことの大切さに気づかせることができる資料である。そこで本時の指導では，互いの立場になり，討論する活動を通して，歩み寄る大切さを感じさせ，今後の生活に生かせるようにしたい。

３　内容項目との関連



4　本時の指導

(1)　ねらい

　権利と義務の関連を考え，相手の権利を尊重するとともに自分の権利を正しく主張し，また，自分に課せられた義務を果たそうとする態度を育てる。

(2)　準備・資料

　場面絵

(3)　展開

主な流れと予想される児童の反応	支援と評価
1　自分たちのもつ権利について考え，話し合う。 ○　みんなには，どのような権利があると思いますか。 ・自分の好きなことをする権利。 ・言いたいことを言う権利。	・自分が有している権利について考えさせることで,ねらいとする価値への方向づけをする。 ・権利という言葉が難しい場合は,「自由にしてもよいことは。」など，児童に分かりやすい言葉で発問する。
2　「ピアノの音が・・・・・」を読んで考える。 ○　「ピアノがうるさい。」と苦情を言った人（A）は，相手の人に対して，どんなことを思っているでしょうか。 ・迷惑だ。 ・静かにしてくれ。	・Ｐ６３のＬ３「いよいよ・・・持たれました。」までで終わりにし，３の活動につなげる。 ・「ピアノがうるさい。」と思っている人の気持ちを，自分のこととして考えさせる。 ・「迷惑だ」や「静かにしてくれ」など，なぜそのように思ったのか発問をして，より自分のこととして考えさせる。
○　「ピアノがうるさい。」と苦情を言われた人（B）は，相手の人に対して，どんなことを思っているでしょうか。 ・ピアノの音くらいで文句言うな。 ・弾いてもいいじゃないか。	・「ピアノがうるさい。」と言われた人の気持ちを，自分のこととして考えさせる。 ・「文句言うな」や「弾いてもいいじゃないか」など,なぜそのように思ったのか発問をして,より自分のこととして考えさせる。
3　ＡとＢどちらかの立場になり，グループで話し合う。 (1) ＡとＢがそれぞれの権利を主張し合う。 (2) ＡとＢがそれぞれ気持ちよく生活するには，どうすればよいか話し合う。	・２の考えをもとに，自分の考えに近い方の立場になるよう伝える。 ・どのようにすれば，互いの気持ちや立場を踏まえて，話し合いができるのか考えさせる。 ・互いの権利を主張するだけでは,解決できず,歩み寄ることが大切だと気づかせたい。
4　「ピアノの音が・・・・・」の続きを読み，権利と義務について考える。 ◎　権利を主張するときに，どんなことを考えておくとよいでしょうか。 ・一人一人権利はあるけれど，相手のことを考えることも大切。 ・権利を主張するときは，きちんと義務を果たしているかも大切。	・３での自分たちの討論（話し合い）や自分たちの気持ちの変化などと比べながら読むよう伝える。 【ねらいを達成した児童の姿】 ノート記述 一人一人権利はあるけれど，相手のことを考えることも大切。 権利を主張するときは，きちんと義務を果たしているかも大切。
5　自分の生活に置き換えて，振り返りを書く。	・学校生活や日常生活での権利や義務について具体的に書くことができるようにする。